

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 日 作成

事務事業名		合志市体育指導委員協議会配置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名 西川正則
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名 中島 仁
	基本事業	69	生涯学習団体やスポーツ団体の組織化の推進			所属班	スポーツ振興班	(内線) 1505
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : 10 コスト削減優先度評価結果 : 6	
	1	10	6	1	10824			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S36 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興法に基づき配置、合志市におけるスポーツに関する事業に協力し、スポーツについて指導助言を行い理解を深める活動を行うために体育指導委員を配置する。現在25人。 ・スポーツ振興法にうたってあり、住民のスポーツ振興のための企画立案、指導助言を目的に昭和36年度に配置された。 ・旧町時代の体育指導委員の定数はそれぞれ15名であったが、合併後30名以内になった。 ・高齢化社会を迎え、高齢者向けの講座の要請が増えてきた。また、スポーツ振興基本計画や健康増進法などの制定により、健康ブームからスポーツを楽しむ人が増え益々活動が増えている。 ・平成12年にスポーツ振興基本計画が制定され、平成18年に一部改正された。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催、研修・講習会の企画、出前講座の手配、費用弁償等の手配、体育指導委員手帳等の消耗品の購入手務、スポーツ傷害保険加入手務、県体育指導委員協議会への負担金支払い手務
【主な予算費目】	・旅費(費用弁償)、報酬、消耗品費、役務費、負担金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けの講座の要請 ・健康ブームからスポーツを楽しむ人が増え、体育指導委員の手伝いが必要だという意見 ・区やコミュニティーから体育指導委員の出前講座で大変親切に分かりやすく指導いただいたという意見

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 月例会議の開催、市主催スポーツ振興事業への協力依頼、出前講座等への派遣依頼	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 月例会議の開催、市主催スポーツ振興事業への協力依頼、出前講座等への派遣依頼
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ア 体育指導委員の出席(派遣)機会事業回数	(単位) 回 イ 年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市民	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ⇒ア 合志市民 人 ⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) スポーツに親しんでもらえる	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ⇒ア 年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民の割合 % ⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 市民がスポーツに親しんでいるかどうかは、スポーツ大会にどれだけ参加しているかで推測するしかない。また、市主催大会でなければその数は把握できない。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	60	68	69	69	70	70	70
	イ	人	4275	4579	4667	3943	4754	4844	4934
⑤ 対象指標	ア	人	54118	54515	54914	54901	55289	55680	56074
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	7.9	8.4	8.5	7.1	8.6	8.7	8.8
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	2,232	2,182	2,519	1,173	2,583	2,583
	(A) 事業費計	千円	2,232	2,182	2,519	1,173	2,583	2,583	2,583
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件 費	正規職員従事人数	人	5	6	5	4	2	2	2
	延べ業務時間	時間	150	45	45	30	45	45	45
	(B)人件費計	千円	596	180	179	119	179	179	179
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,828	2,362	2,698	1,292	2,762	2,762	2,762

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0

合志市

事務事業名	合志市体育指導委員協議会配置事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	市主催のスポーツ関係行事(健康マラソン)が1回中止になったため		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	・福祉関係課と連携することにより向上が期待できる。		
公平性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	・必要最小限の出席にし事業費を削減している。		
役割分担評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	・効率的におこなっている。		
役割分担評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	・地域の代表である体育指導委員は全市民を対象にサービスを展開しており、住民は体育指導委員を活用する機会を公平に与えられているから。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・福祉部門とのさらなる連携